

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 2 6 日 更新

事務事業名		防犯協会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	田代 純児
	施 策	17	防犯対策の推進			所属課	安全安心課	担当者名	三谷 三恵
	施策の柱	53	防犯意識の高揚と地域防犯対策			所属班	交通防犯対策班	(内線)	1243
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 10034	根拠法令	熊本北合志地区防犯協会連合会会則	
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	防犯思想の普及徹底を図り、犯罪のない明るい郷土を建設することを目標とした県防犯協会の活動に参画する事業である。 熊本北合志警察署の開設に伴い、新たに熊本北合志地区防犯協会連合会が設立された。当協会事務局が同警察署生活安全課内に新設された。 ※R6年度から、10035防犯対策推進事業に統合する
【業務の流れ】	・負担金及び補助金の支払い。 ・防犯協会が行う事業への支援
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 防犯協会への補助金の支出を行ない、活動を支援した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) R6年度から、10035防犯対策推進事業に統合する
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 協会が行う事業数		令和6年度から10035防犯対策推進事業に統合することによる減
⇒ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		⇒ ア: 市民
		⇒ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
当協会の活動を通して、防犯意識を高める。		⇒ ア: 防犯パトロール団体数
		⇒ イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市民の防犯意識が高まったかどうかを判断する材料として、自主防犯パトロール団体の数を考えた。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア 件		25	25	25	25	0	0	0	0	
② 対象指標	ア 人		63,841	64,453	65,500	64,787	0	0	0	0	
③ 成果指標	ア 団体		26	27	27	27	0	0	0	0	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	2,292	1,785	3,096	3,096				
	(A) 事業費計	千円	2,292	1,785	3,096	3,096	0	0	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	102	103	103	103	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	4	4	3	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	440	490	400	340	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	1,720	1,864	1,593	1,238	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,012	3,649	4,689	4,334	0	0	0	0	

事務事業名	防犯協会参画事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した 防犯協会への補助金について適正に支払われた。また、新型コロナ禍にあり啓発活動が制限されたが、関係機関と連携し啓発活動を実施し概ね目標を達成した。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 次年度も防犯協会への補助金の支払い、及び、防犯団体と連携をとり啓発活動を実施する予定であり目標達成の見込みはある。 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある⇒【理由】 自主防犯団体未結成の地区はまだ多いため、働きかけを行うことで向上の余地はある。 ☐ 向上余地がない⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 他に手段がない⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 R6年度から、10035防犯対策推進事業に統合する
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 負担金及び補助金のみで事業費であるため削減の余地はない。 ☒ 削減余地がない⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 負担金及び補助金の支払事務、協会事業への支援であり、削減の余地はない。 ☒ 削減余地がない⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 市内全域の防犯に関する協会の業務を支援するもので、公平である。 ☒ 公平・公正である⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 負担金及び補助金の支払い、協会事業の啓発については、行政の役割である。 ☒ 役割分担は適正である⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

協会の活動へ参加し、市民の防犯意識の高揚を図ったが、さらに協会と連携をとりながら、より地元に根付いた活動が必要である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												